

# サーバハウジングサービス サービスレポート2011



# も く じ

1 : 国際規格準拠の IT サービス .....	1
2 : 個人情報保護への取り組みについて .....	1
3 : 新東京 IDC の主要設備 .....	2
4 : 新東京 IDC のグリーン IT への取り組みについて .....	3
5 : サービスレベル .....	5
5-1 : サービスの報告 .....	6
5-2 : 障害記録の報告 .....	6
6 : アンケートのフィードバック .....	7
6-1 : IDC のご利用について .....	7
6-2 : 質問、要望などへの回答 .....	8
7 : サービス改善 .....	9
8 : その他 (東日本大震災に伴う、新東京 IDC の影響について) .....	9

弊社 新東京 IDC をご利用のお客様を対象に、設備・運用状況やアンケート結果などを  
年 1 回公開しております。

## 1：国際規格準拠の IT サービス

昨今のビジネスでは IT サービスが事業の根幹を担うことも多くなっています。

そして IT サービスの品質低下が、ビジネスそのものの品質低下に直結することも少なくありません。

またサービスの停止のみならず、一部に障害が発生した場合や情報漏えいが発生した場合、組織や社会に大きな影響を与える可能性があります。

IT サービスにおいてはそのような運用上のリスクに備えるだけでなく、サービス品質や情報セキュリティ対策にも、これまで以上に慎重に取り組まなくてはなりません。

弊社ではお客様の大切な IT 資産をお預かりするハウジングサービスにおいて、セキュリティ強化だけでなく、継続的な品質向上と安定運用やお客様からのご依頼への迅速・確実な対応が急務と考えております。

そこで、運用の可視化や社内体制の整備に努め、これまで以上にお客様に安心して業務をお任せいただけるマネジメントシステムを構築し、運用に取り組んでおります。

新東京 IDC におきましては、サーバハウジングのセキュリティ対策や品質向上のためのワーキンググループが組織され、当サービスは ISO27001・20000・9001 の 3 つの国際規格に準拠していることを第三者審査により認められました。

◎ISO27001 (ISMS) : 情報セキュリティマネジメントシステム  
IS 546671

◎ISO20000 (ITSMS) : IT サービスマネジメントシステム  
ITMS 508435

◎ISO9001 (QMS) : 品質マネジメントシステム  
FS 508432

## 2：個人情報保護への取り組みについて

弊社では情報サービス業として事業を行うにあたり個人情報を含む情報資産をさまざまな脅威から守るため、グループ企業理念に基づいて情報セキュリティに関する基本方針（プライバシーポリシー）を定めており、中でも個人情報の保護についての取り扱い規範は個人情報保護法および JIS 規格 (JIS Q 15001) に準拠させています。社内各部門でそれらを厳正かつ適切に運用し、情報資産の保護に努めてまいります。

弊社ではワーキンググループを中心に全社展開を図り、1999 年からプライバシーマーク使用許諾の認定を受けております。

◎プライバシーマーク（全社）  
11820042(07)

### 3：新東京 IDC の主要設備

- ◎耐火構造
- ◎免震構造
- ◎雷害対策（統合接地設備）
- ◎水害対策
- ◎窒素ガス消火設備
- ◎無停電電源装置、非常用自家発電装置
- ◎ビル内外に監視カメラを設置
- ◎フロア単位での非接触 IC カードによるセキュリティ管理の実施
- ◎バイオメトリクス認証装置の採用
- ◎IDC 入退館および、サーバールーム入退室を 24 時間 365 日監視

## 4：新東京 IDC のグリーン IT への取り組みについて

企業のグリーンITへの取り組みとして、データセンターへIT機器を集約することによる電力消費の抑制効果や、ブレードサーバや省電力サーバの導入による効率化などが謳われていますが、近年は集約されるデータセンター自体のグリーンIT化も重要視されるようになってきております。

新東京 IDC では建設当初から環境保護や省資源への取り組みを行っており、省エネルギーシステムの採用・資源適正利用・自然環境保護の3つの観点から設備を採用しております。

### ◎氷蓄熱システムの採用

夜間の割安な電力を利用して製氷を行い、その氷を昼間の空調に使用するシステムです。

夏場の電力削減だけでなく、システム自体が燃焼を行わないためCO<sub>2</sub>などの排出も抑えることができます。

### ◎雨水利用システムの採用

屋根などに降った雨水をタンクに集水し、砂濾過装置と塩素注入で水処理を行い再利用する仕組みです。年間降雨量から約2000立方メートルを有効活用することとなり、水資源の節約を行っております。

さらに、雨水を利用した屋上散水により、気化熱にて空調室外機の効率向上を図っております。

(2011年追記)

### ◎照明制御システムの採用

照明には人感センサーを設置し、照明の点灯を自動制御するだけでなく、照度センサーによって適切な照度出力制御を行っております。これによって窓側では採光の有効活用を図るだけでなく、ランプ交換当初の余分な明るさを補正することによって、無駄な電力消費を削除することができます。

### ◎Building and Energy Management Systemの導入

室内環境やエネルギー使用状況を把握し、併せて室内環境に応じた機器や設備の運転管理を行うことにより、エネルギー消費量の削減を図るシステムです。これによって建物全体のエネルギー消費量を約8%削減すると算出されております。

### ◎屋上緑化の採用

ヒートアイランド現象の緩和のため、東京都の基準では、基準敷地面積ー建築面積の20%以上の緑化を確保する必要があります。新東京 IDC では約40%を確保しております。

### ◎外壁タイルに親水性タイル導入

新東京 IDC の外壁タイルには水を広らせる機能を長期間保持する親水性タイルを採用しております。

このタイルは排気ガスや粉塵などが付き難いだけでなく、雨水が汚れを落とす役目も果たします。

これによって洗浄作業頻度の低減を図ることが可能となり、化学洗浄剤の使用を減らすことができます。

### ◎分離空調方式の導入（グリーンIT化プロジェクト）

効率の良い空調環境を実現するため、増設したサーバールームに導入を致しました。想定通りの効果を確認致しましたので、開設当初より稼働中のサーバールームにおいても追加導入致しました。

これにより、熱だまりの問題が解消され、部屋全体の空調効率が向上致しました。効果として、空調の消費電力が、約40%削減され、CO<sub>2</sub>排出量が年間約142トン低減することができます。

また、既存サーバールームにおきましても、排熱ダクトを設置し、熱だまりの発生防止と排熱の効率化を致しました。

◎共有部設備のグリーン化（省エネ対策）

廊下の照明をツイン蛍光灯からLED式照明に全て交換し、省エネを実現しました。

また、社員用通用口へのエアカーテンの設置により、外気との遮断をして、室内の空気を逃がさない工夫を行い、空調の効率化を図りました。（2011年追記）

以上のような環境に配慮した設備だけでなく、新東京 IDC では人にも配慮した設備を採用しております。

◎段差の負担軽減

正面玄関ロビーにリフターを設置し車椅子での入館に考慮しているだけでなく、新東京 IDC の南と東の2箇所にもスロープを設置し、バリアフリー化による入館者の負担軽減が図られております。

◎身障者の利用を考慮した設備の採用

新東京 IDC では身障者にも利用しやすい構造のトイレを設置してあるだけでなく、誘導及び通行を円滑にするために視覚障がい者用の注意喚起・誘導床材を敷設しております。

5 : サービスレベル

契約顧客様のみの公開とさせていただきます。

5-1：サービスの報告

契約顧客様のみの公開とさせていただきます。



## 6：アンケートのフィードバック

「情報セキュリティおよびサービスに関するアンケート」へのご協力、ありがとうございました。  
アンケートの集計結果をご報告致します。

対象等

- ◆アンケート対象期間：2010/01～2010/12  
アンケート実施期間：2011/01～2011/08

### 6-1：IDCのご利用について

◎入館時の待ち時間についてどのようにお感じでしょうか

長い：23% 普通：54% 短い：8% 未回答：15%  
(昨年度 長い：33% 普通：53% 短い：14%)

◎入館対応者の対応はどのようにお感じでしょうか

悪い：0% 普通：46% 良い：39% 未回答：15%  
(昨年度 悪い：0% 普通：48% 良い：52%)

◎入館対応についてお気づきの点がございましたら、ご記入ください（抜粋）

- ・血流認証登録に時間がかかる。(待たされる時間が長い。登録に時間がかかる)、
- ・受付を済ませてから担当者が来るまでに待たされることがある。

◎対象期間中に、サーバ環境に影響を与えるトラブルはありましたか

Yes：23% No：77% (昨年度 Yes：29% No：71%)

◎弊社の対応や環境がトラブルの一因となりましたか

Yes：0% No：100% (昨年度 Yes：17% No：83%)

◎弊社要員によるサポートサービス依頼対応などをご利用されましたか

(対象機器のランプ確認や電源OFF/ONなど)

はい：39% いいえ：61% 無回答：0% (昨年度 はい：38% いいえ：57% 無回答：5%)

↓

◎対応は満足出来るものでしたか

はい：100% いいえ：0% (昨年度 はい：100% いいえ：0%)

◎入館口について、時間帯により分けておりますが、どのようにお感じでしょうか。

便利：0% 普通：77% 不便：8% 無回答：15%

◎同業他社に比べて優れていると感じた事項があればご記入ください（抜粋）

- ・災害対策がしっかり成されている。
- ・駐車場が広く、機器搬入の際にゆとりをもって作業ができる。
- ・営業対応がよい。

◎同業他社より不足している、または改善して欲しい事項があればご記入ください（抜粋）

- ・ブレードサーバ、ストレージ製品など、同時に複数台収容できるようラックあたりの耐荷重の増加及び電源に充実を図って頂きたい。
- ・休憩ルームの飲食・喫煙コーナーなど（の充実）。
- ・入館時の待ち時間をもう少し、短くして欲しい。

◎入館申請について、主にどの方法をご利用でしょうか

メール（Excel）：23% Web：62% 未回答：15%

↓

◎（メール（Excel）の回答の方のみ）入館申請の方法にWebがあることをご存知でしょうか。

はい：67% いいえ：33%

◎（Web利用の回答の方のみ）Web申請システムの使い心地についてどのようにお感じでしょうか。

便利：25% 普通：50% 不便：25%

[不便な点（抜粋）]

- ・Webから申請できる点は便利だが、入力レイアウトにちょっと迷うことがある。
- ・前のものをコピーして使う場合、作業者について一番上の一人しかコピーされないのは不便。

## 6-2：質問、要望などへの回答

◎（要望）今後電力不足により、弊社IDCの地域でも輪番停電が実施される可能性があるため、自家発電設備の強化を実施して頂きたい。

（回答）安定的な電力供給について、継続して検討を行って参ります。

◎（要望）正面玄関にて入館しましたが、時間が遅くなり退館時に社員通用口から出ることになった。その際、正面玄関の傘立てに置いた傘を取りに行きづらいです。

（回答）退館時間が遅くなる場合は、事前に通用口に傘を移動するなどのご案内をさせて頂くことで対応を致します。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

今後も、情報セキュリティ面を強化しながら、  
運用とサービスの改善・拡充に努めて参ります。

## 7：サービス改善

新東京 IDC のサービス改善点についてご報告致します。

2011年3月に発生した「東日本大震災」に伴い、国内にて節電への取り組みが行われました。  
新東京 IDC におきましては、節電への貢献のため、以下の対策を実施しました。

### 【館内設備対策】

- ◎サーバールーム照明半灯化 2011年6月実施  
ラック前面部（コールドアイル側）の照明を半灯にしました。
  
- ◎屋上散水の実施 2011年7月実施  
屋上面付近の熱を逃がすため、定期的に散水し、気化熱にて室外空調機の効率向上を図りました。
  
- ◎エアカーテンの設置対策 2011年7月実施  
休日夜間の受付窓口として、ご利用いただいております出入り口の扉付近にエアカーテンを設置し、室内の冷氣（冬は暖気）を逃がさないように対策をしました。
  
- ◎フロアの廊下にLED照明を導入 2011年7月実施  
蛍光管式の照明から省電力であるLED照明に変更しました。
  
- 【入館時のご利用者の方への協力依頼】 2011年6月27日 ～ 9月22日
- ◎共有部（通路、トイレ、休憩場所など）の半灯の実施
  
- ◎自販機の一部利用停止、電子マネーチャージャーの停止
  
- ※ その他、法律で定められた新東京 IDC の電源使用制限量に達する恐れがある場合は、サーバールーム以外のフロアの空調停止をさせていただきますと事前にご連絡させていただきました。
  
- ⇒ご利用者の皆様のご理解とご協力のもと、フロアの空調停止や停電などは一切発生せず、無事に節電期間を終えることができました。  
誠にありがとうございました。

## 8：その他（東日本大震災に伴う、新東京 IDC の影響について）

- ◎震災当日：直ちに施工業者に通報し、全館の総点検を実施しました。  
建物・設備において異常は検出されませんでした。  
また、翌日には非常用発電機燃料の補充を実施しました。  
※一部壁紙の軽微な破損はありましたが、直ちに補修を行いました。
  
- ◎輪番停電：新東京 IDC の地域は、輪番停電の除外地域でありましたが、発電機の運転時間を最長とするために、運転方法の見直しをしました。
  
- ◎夏の節電対策：新東京 IDC は、電気事業法に基づく電力ピーク規制の対象でありましたが、上記7.の「屋上散水」や「LED照明」をはじめとする省エネに努め、節電目標を達成しました。

 **ヤマトシステム開発株式会社**

〒135-0061 東京都江東区豊洲 5-6-36 (SIA 豊洲プライムスクエア)

TEL. (0120) 01 - 0260

URL. <http://www.yamato-idc.jp/>

E-mail. [webmaster@nekonet.co.jp](mailto:webmaster@nekonet.co.jp)

2011年11月15日 公開